

様式 2

県立高等学校重点校制度に係る成果報告書

学校名 青谷高等学校

重点項目	I C T活用教育	提出日	令和5年4月21日
------	-----------	-----	-----------

1 学校目標	
人づくり ～生涯 学び続けるために～ 自分らしさに誇りを持ち、社会で信頼され、社会に貢献する人材を育成する。	
2 重点項目に係る目標・成果	
目標	成果
<p>(1) 総合学科における多様な学びの展開による一層の特色化を進めるために、それぞれの科目でのI C T活用や、プログラミング的思考を取り入れた学習活動に向けた取組を行う。</p> <p>(2) 科目「情報 I」において、地元企業を招いたプログラミング教育を行うことにより、教職員が新たなI C T活用手法を学ぶ機会とすることで、I C T活用能力の向上を図る。</p> <p><数値目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ○全ての生徒が Google Workspece を活用した授業を経験する (100%) ○I C Tを活用して授業を行う教員が100% ○生徒のプレゼンテーション能力の向上 青谷学 I 及び青谷学 II でプレゼンテーションの機会を設け、自己評価を実施し、自分の考えをうまく表現することができるとの回答が70%以上 ○学習意欲の向上 I C Tを活用した授業の実施によって学習意欲が向上する生徒が80%以上 	<p>◇各教科の授業におけるI C Tを一層進めるとともに、探究学習や特別活動においても積極的な利活用がおこなわれた。</p> <p>◇科目「情報 I」において、地元企業を招いたプログラミング教育を展開し、単にプログラミングを学ぶだけでなく、習得したプログラミングの知識をグループ学習へとつなげ、生徒自ら、実生活に生かすためのプロトタイプモデルを考案・作成し、成果を発表する探究学習へと発展できた。</p> <p>◇G I G Aスクール推進課の協力により、らっこたん (オンラインタイピングソフト) を1年次にモニター使用としての導入が実現し、I C T利活用の基盤となるタイピングの強化を図ることができた。</p> <p><数値結果></p> <ul style="list-style-type: none"> ○全ての生徒が Google Classroom を日常的に活用できた。100% ○I C T活用に関するアンケート結果 教科等の指導でI C Tを使用した教員100% ○自己肯定感に関するアンケート 自分の考えをうまく表現することができるとの回答 1学期36%→3学期44% ○I C T活用に関するアンケート結果 I C Tを活用した授業は、意欲的に取り組めるとの肯定的意見76.4%
3 実施事業	
<p>【高等学校課事業】 該当事業なし。</p> <p>【独自事業】</p> <p>(1) 知的好奇心の醸成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○プログラミング学習の授業研究 株式会社アクシスから講師を招き、プログラミング講座を18講座36時間実施した。 	
4 総合所見 (成果・評価)	

新たな学習指導要領により、必修化された「情報Ⅰ」の導入に伴い、これまで本校の情報教育で展開されていなかった「ビジュアルプログラミング」と「フィジカルコンピューティング」について、地元企業を外部講師として招いて実践することにより、生徒の理解向上を図るだけでなく、教科「情報」を担当する教員のスキルアップにつなげることができた。

また、GIGAスクール推進課の協力により、1年次に対するオンラインタイピングソフトをモニターにて使用できる環境が整うとともに、教育活動全般でのICT利活用のさらなる推進が図られており、ひとり一台端末に向けた教育実践を推し進めることができた。

なお、生徒のプレゼンテーション能力の向上並びに、ICTを活用した授業による学習意欲の向上については目標値に届かなかったことから、成果発表に向けた準備期間を十分に設け、ICT活用能力を一層高めるよう努めるとともに、ICTを活用した授業に向けた校内職員研修に取り組みたい。

※枚数任意